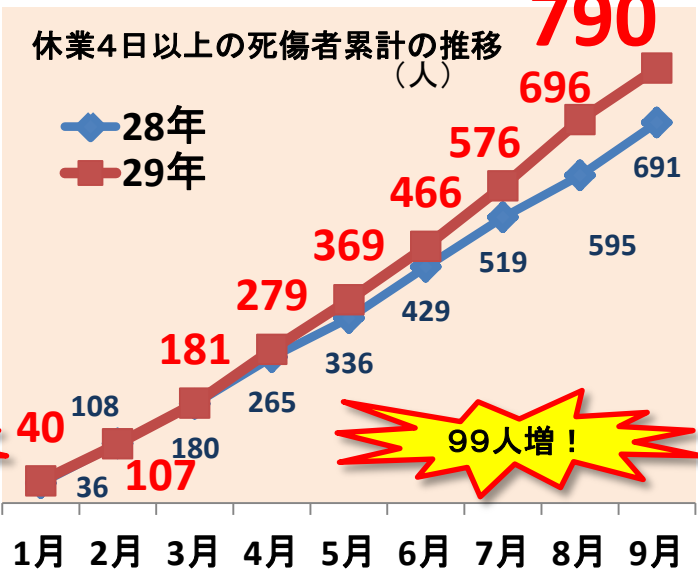
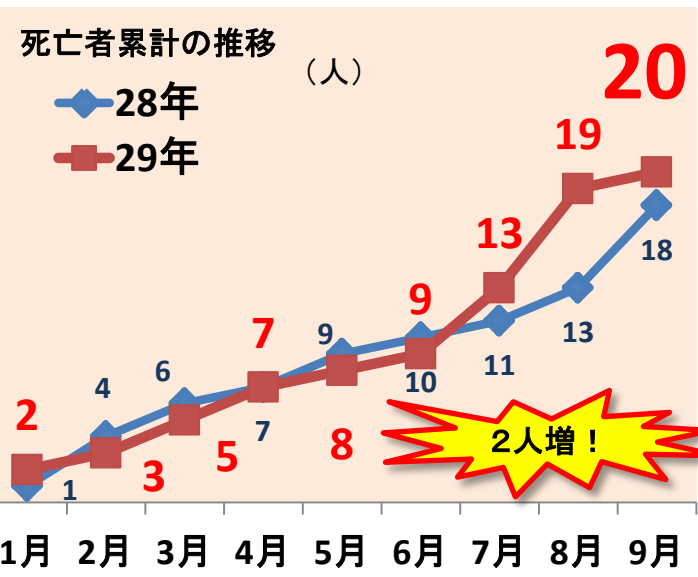


建設業の労働災害が急増しています！

○都内における建設業労働災害発生状況



○労働災害防止活動の重点実施事項

建設業における労働災害防止活動の取組状況アンケート結果によると労働災害の発生割合が低い店社ほど、下の3つの取組が積極的に行われていることが分かりました。労働災害防止のために取組をお願いします。

建設業における労働災害防止活動の取組状況アンケート 平成29年7月実施
 内容: ①東京労働局労働災害防止計画の建設業の取組事項についての進捗状況
 ②建設業店社における安全衛生活動の実施状況
 対象: 東京都内に店社等を置く建設業100社対象

東京労働局 建設 アンケート [検索](#)

- 1 職長等に対する定期的な再教育の実施
 - 2 リスクアセスメント結果の定期的な見直し
(リスクレベルの再評価)
 - 3 災害原因及び再発防止結果の関係請負人を含めた労働者全員への周知
- 詳しくは裏面

このリーフレットの内容についてのお問合せは、王子労働基準監督署第二方面までお願いします。 ☎03 (6679) 0186

1 職長等に対する定期的な再教育の実施

「建設業における職長及び安全衛生責任者の能力向上教育に準じた教育カリキュラム」(平成29年2月)により再教育を実施しましょう。

○教育カリキュラムなど

科 目	時間
職長等及び安全衛生責任者として行うべき労働災害防止に関すること	120分
労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	60分
危険性又は有害性等の調査等に関すること	30分
グループ演習	130分

・職長等の職務に従事することとなった後、概ね5年後

・機械設備等に大幅な変更があったとき

職長 能力向上教育 

2 リスクアセスメント結果の定期的な見直し (リスクレベルの再評価)

労働災害の発生や作業方法や作業手順の変更により、リスクに変化が生じた際など、定期的にリスクの見直し(リスクレベルの再評価)をしましょう。

○こんなときは、リスクの再評価をしましょう「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」より

・労働災害が発生した場合であって、過去の調査内容に問題がある場合

・前回の調査から一定期間が経過し、機械の経年劣化、労働者の入れ替わり等に伴う安全衛生の知識経験の変化、新たな安全衛生の知見の集積等があった場合

3 災害原因及び再発防止結果の関係請負人を含めた労働者全員への周知

労働災害が発生したときは、発生原因を調査して、再発防止対策を検討しましょう。また、検討結果については、関係労働者全員に周知しましょう。

○今年度は12次防労働災害防止計画の最終年度です！

○目標(東京局)

- ・死亡災害:53人を下回る
- ・死傷災害:8000人を下回る
- ・建設業死亡:20人を下回る

○現況(東京局)

- ・死亡災害:33人
- ・死傷災害:5945人
- ・建設業死亡:20人

*9月末日現在

○最終年度 (平成29年)重点対策概要

(建設業における墜落・転落災害防止対策)

- ・注文者及び事業者による足場の点検の実施、足場組立て、解体作業時における安全帯の使用。
- ・はしご等の適正な選定及び使用。

○個別重点対策(建設業対策のみ抜粋)

- ・段階に応じた安全衛生教育の実施(雇入れ時教育、職長教育、新規入職者教育、職長、安全衛生責任者再教育など)。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会対策
- ・高所作業における作業床の確保、安全帯使用徹底。ハーネス型安全帯の使用勧奨。

東京労働局 12次防 